



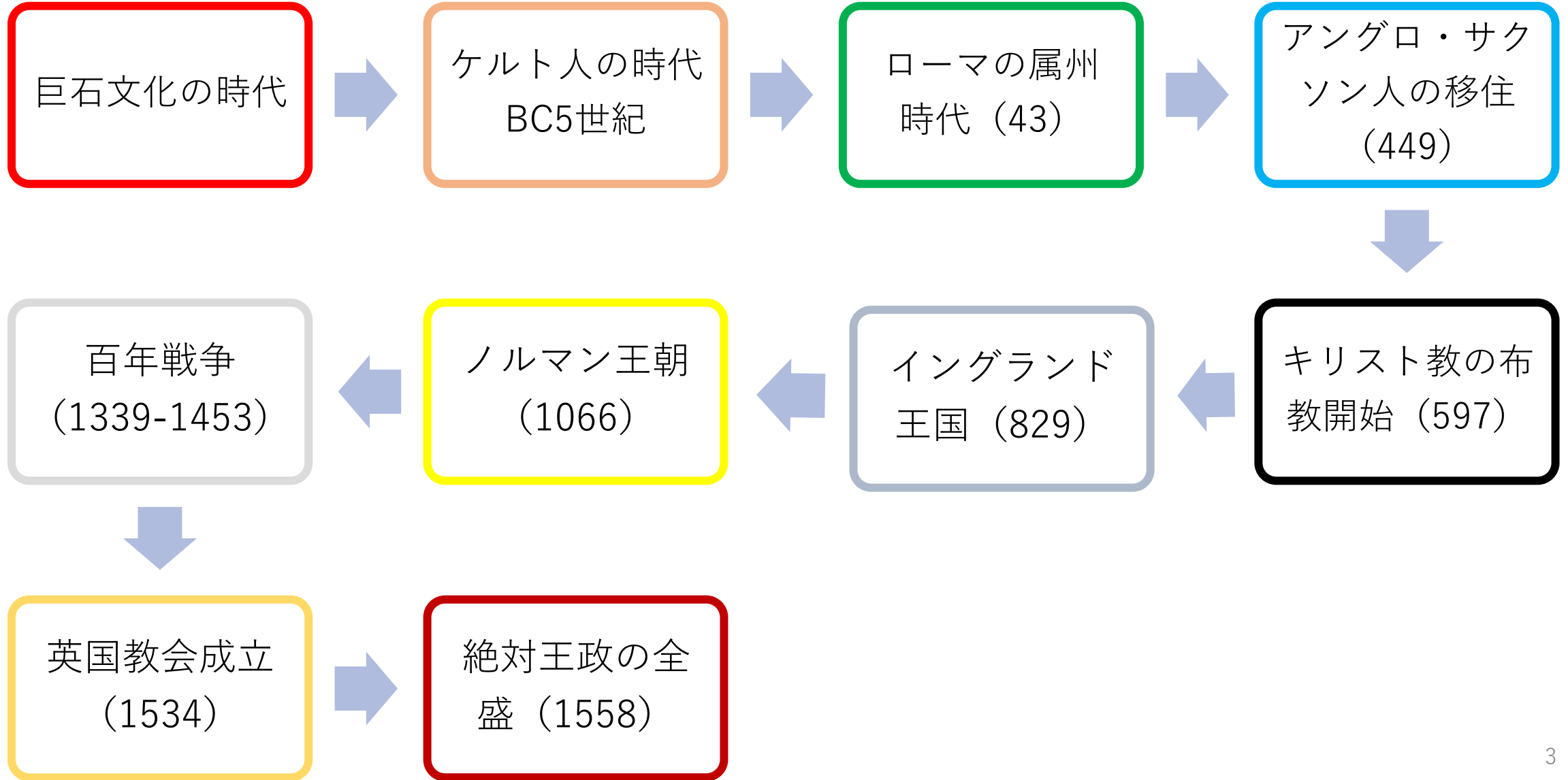
# 英国教会と信託制度の起源 (フランシスコ会)

立正大学大学院  
経済学研究科講師 畠山久志

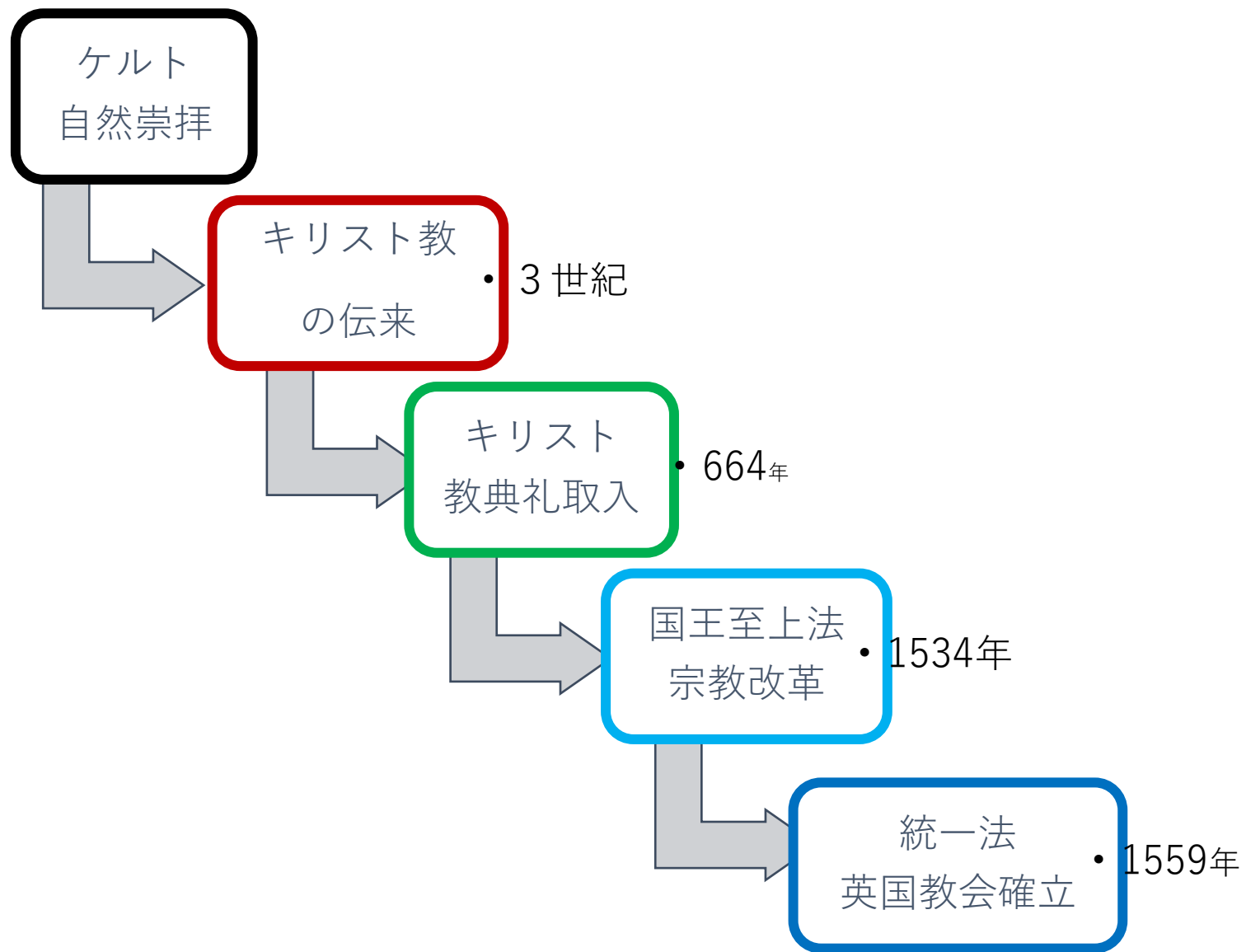
# 英国の歴史と教会

- 島国であったため、多様な民族が渡来
- 民族とともに、宗教・教会も変遷
- 自然崇拝からキリスト教へ
- 16世紀宗教改革
  - ローマ・カトリックから
  - ⇒英国独自の国教会へ

# 英国の歴史（前期）



# 英国の宗教事情



# フランシスコ会 (Order of Friars Minor)

聖フランシスコ

- 13世紀イタリア中部の街アッシジ生まれのフランチェスコによって始められたカトリック教会の修道会
- 主張：**無所有と清貧**
- 英国王ヘンリー八世もフランシスコ教会で洗礼を受ける。



# 1221年フランススコ会の会則

◎われらの主イエス・キリストの福音を守り、服従のうちに生き

**自分の物は何も持たず**、常に貞節のうちにあらんことを。

○修道士は頭巾付き上着1枚だけ持ち、履物は必要な者だけに許される。

○金銭を受取ってはならず、**何物も所有せず**、清貧と謙讓のうちに主に仕えよ。

# フランシスコ会修道士の衣服

『裸のキリストに、裸で従う』

そこで、

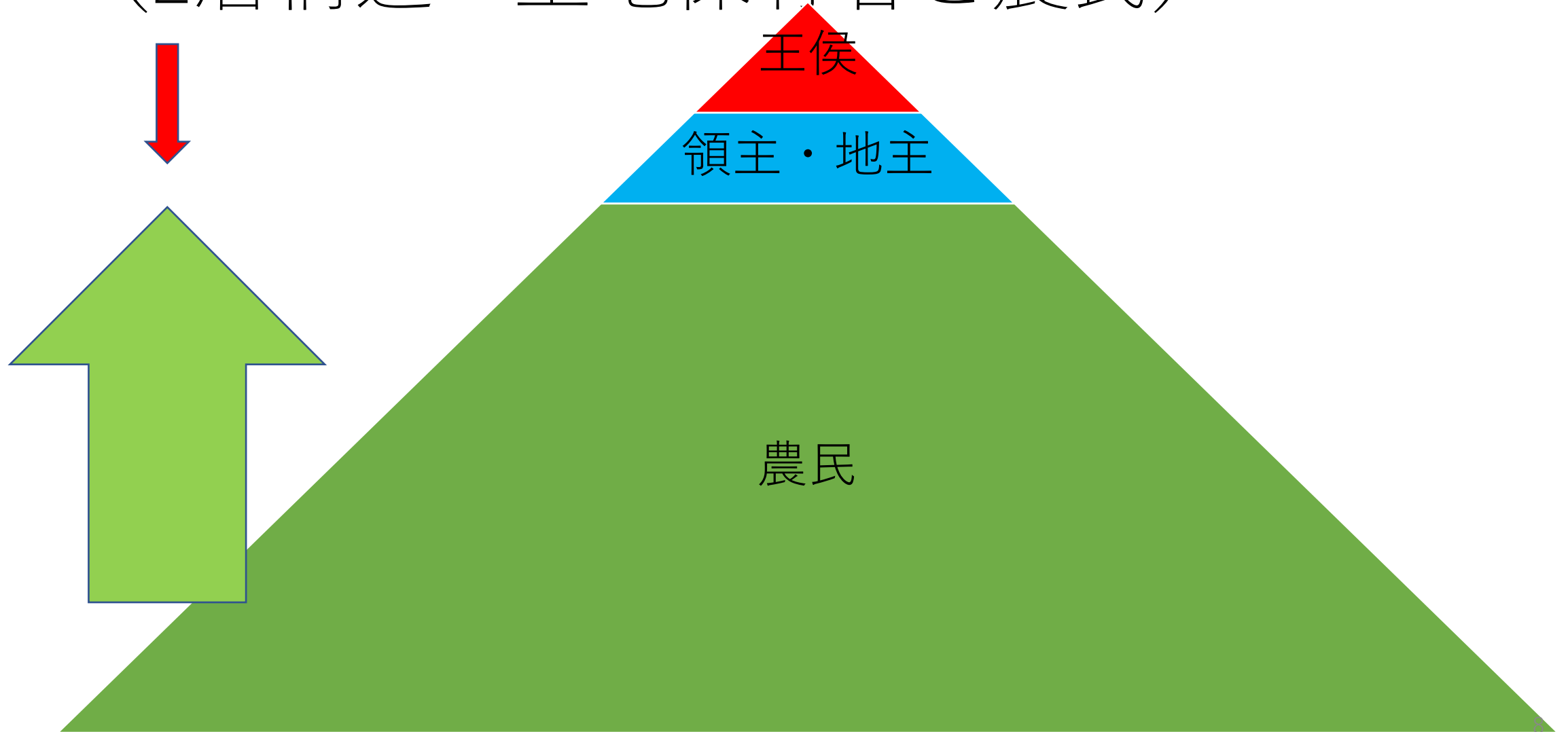
- 茶色のフード付き衣服
- 腰には、荒縄のベルト
- 必要な場合には、靴・サンダルを履く



(資料 : [sorellef.jugem.jp](http://sorellef.jugem.jp))

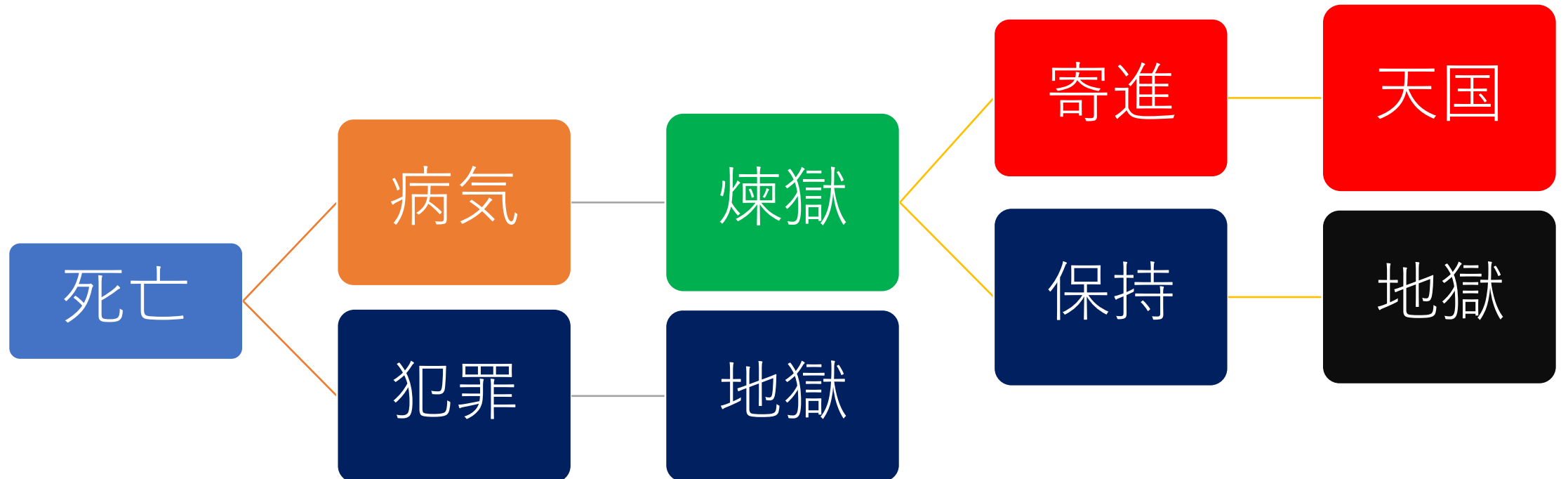
# 中世英国の社会構造

(2層構造：土地保有者と農民)

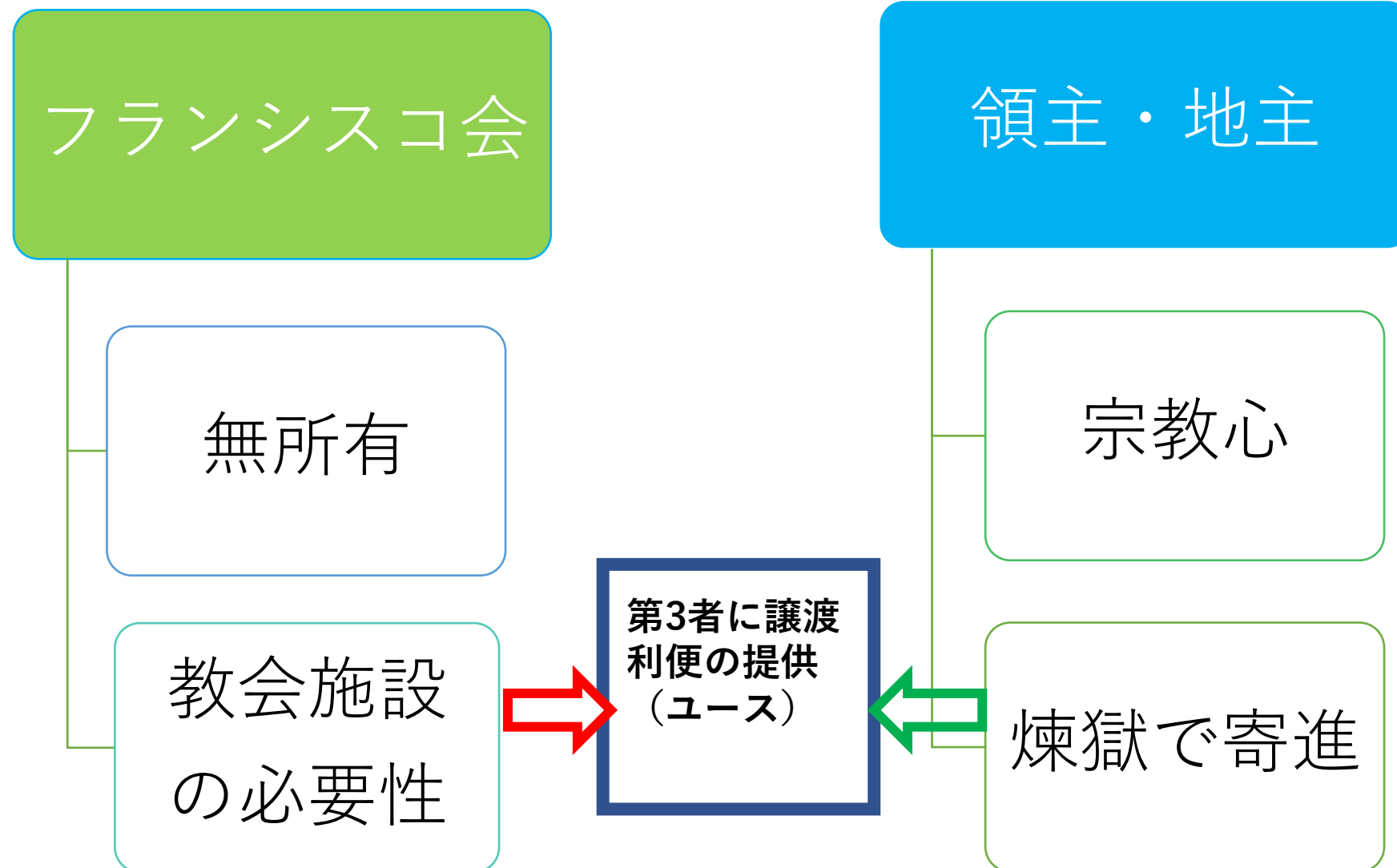




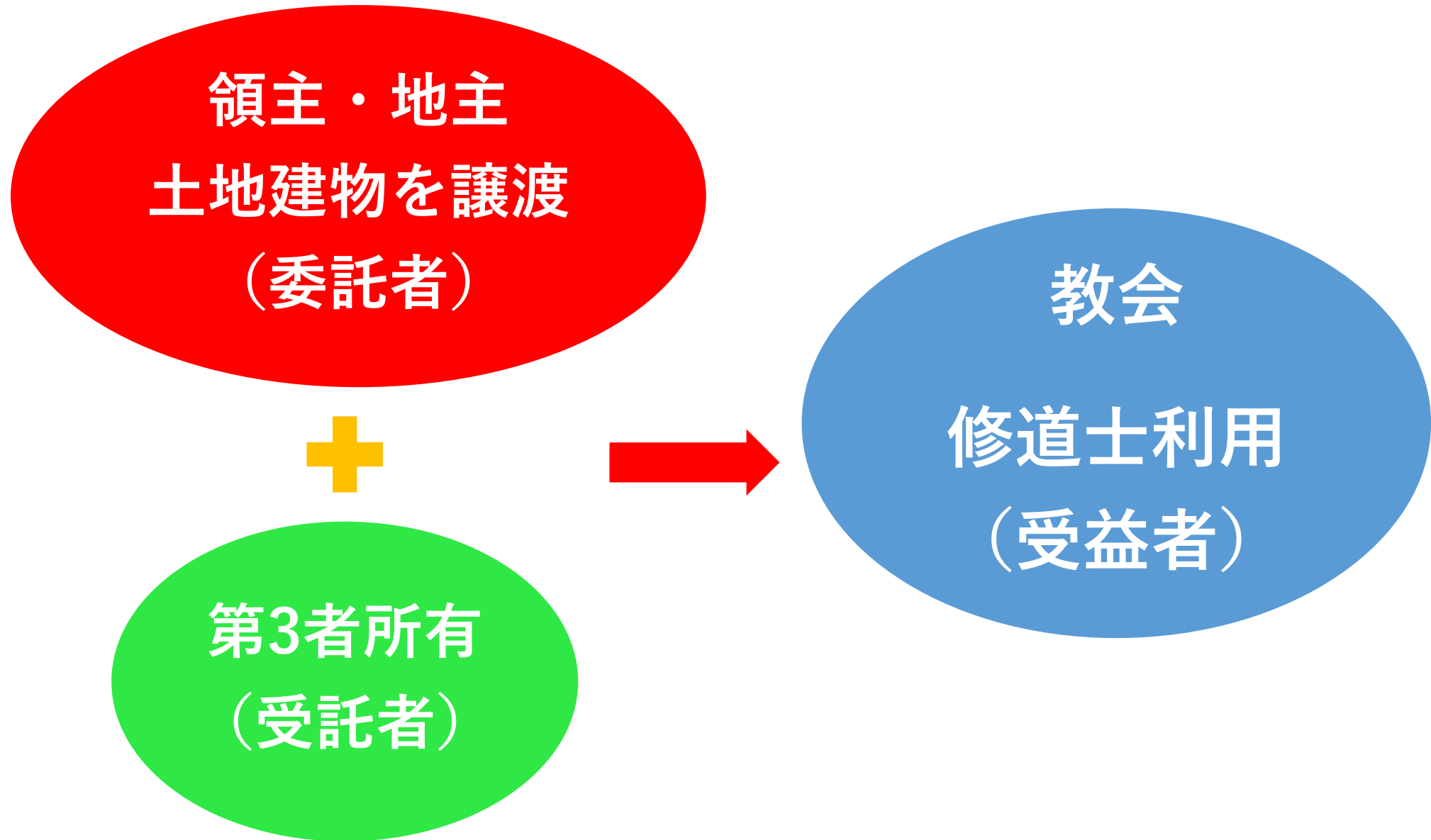
# 煉獄の判断 ⇒ 寄進 土地保有者の選択 (天国か地獄か)



# 信仰の二重の一致



# ユース（信託）の利用



## [参考資料]

- 浜林正夫『イギリス宗教史』  
(1987)
- 高橋博(翻訳)『ベータ英国  
民教会史(講談社学術文庫)』  
(2008)
- 青柳かおり『イングランド  
国教会・包括と寛容の時代』  
(2008)
- マーク・チャップマン(著)岩城  
聰(監訳)  
『聖公会物語ー英国国教会から世  
界へ』(2013)
- 青山武憲「英国と英国教会」法  
学紀要第53巻(2012)
- J. R. H. Moorman  
A History of Church in England  
(1980)